



国民の森林・国有林

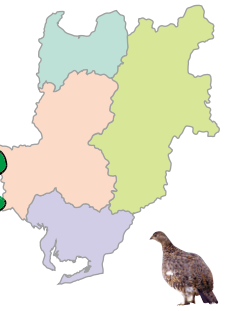
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



8月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



8月の見どころ聴きどころ⑦「なかつがわ「山の日（サンデー）」イベント」（中津川市の原さんからの投稿）

主な項目

- 本局のトピックス（第五十八回高山植物等保護対策協議会総会を開催ほか） … P1
- 各地からのたより（川入地区民有林直轄治山事業地元説明会を開催ほか） … P4
- シリーズ「ご当地自慢」（富山森林管理署 日本の滝100選「称名滝」） …… P9
- 森林のお仕事紹介コーナー
 - ☆「森林官からの便り」（木曾森林管理署 開田森林事務所） …… P10
 - ☆「森林・林業界からの便り」（付知土建株式会社） …… P11
 - ☆「林業土木業界からの便り」（大山土木株式会社） …… P12
- 9月の見どころ聴きどころ …… P13

第五十八回高山植物等

保護対策協議会総会を開催

【保全課】

七月二十四日、中部森林管理局において、長野県内の国有林並びに民有林における高山植物等の保護と地域の美化を図り、将来にわたり国民の福祉に寄与することを目的とする「高山植物等保護対策協議会」の第五十八回総会が、長野県をはじめ、環境省信越自然環境事務所、警察本部、教育委員会等行政機関、山岳・観光関係団体、五地区の協議会長等、二十五名の出席のもと、開催されました。

平成三十年度事業活動報告においては、各地区協議会がパトロールを委嘱している高山植物等保護指導員等により、高山植物の摘み取りや立入禁止区域への侵入など五百四件の指導が行われたことが報告され、「インバウンドの急増に伴い、言葉や文化も異なる外国人登山者への啓発活動に苦慮している」などの

課題も提起されました。

また、令和元年度事業計画については、立入禁止区域の明確化と維持管理や、登山初心者、外国人観光客に対する啓発活動、ニホンジカ等の被害状況・目撃情報の収集といった活動の柱を確認し、「シカの日撃情報を収集するに当たり、山小屋などの協力を得て入り込み客からの情報提供を募り、インターネットを通じて情報発信に努める」などの取組を進めることとしました。

今後、夏山から秋の行楽シーズンを迎えます。引き続き各地区においてマナー等の指導・啓発活動に努め、国民共通の貴重な財産である高山植物等を後世に遺していくための取組を展開していきます。

地域力活用型立木販売の

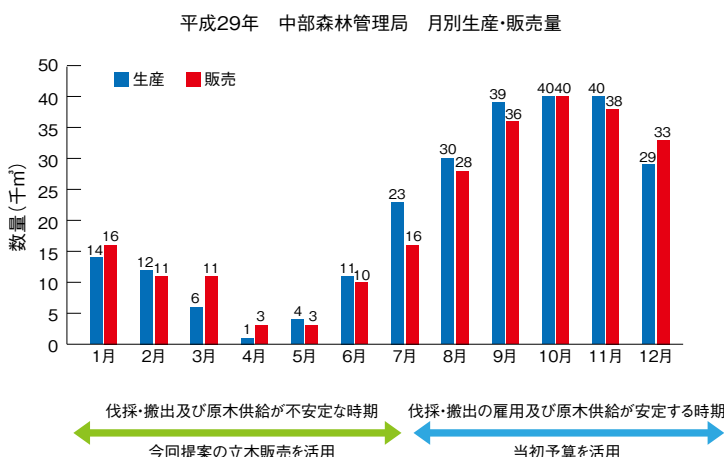
実施についての説明会を開催

【資源活用課】

七月二十五日、中部森林管理局において「地域力活用型立木販売の実施についての説明会」を、川上、川中、川下の関係者並びに局関係者二十二名が出席し開催しました。

本取組の目的は、年度末から年度当初に国や県、市町村からの伐採・搬出事業の発注が減少する時期に、林業事業体が通年雇用を通じて人材育成を可能とすることや、製材工場・合板工場等が、原木調達ルートに立木取得を新たに追加し、年間を通じて安定的に原木が確保できることを目的として試行的に実施するものです。

出席者からは、「端境期（はざかいき）に事業が確保されることは非常にありがたい良い考えであり、川上から川下までの連携体制が重要である」、「地元事業体と木材業者が上手くやっていると心配である」、「搬出条件の悪い時期での経費に係る問題等に対する



不安がある」などの意見が出されました。

森林整備部長からは、川上には、資金回収のリスクを負うこと無く雇用対策ができるメリットがあることや、川中、川下には、丸太原木の調達に新たなルートが加わり、年間を通じ安定的に必要な原木調達が可能となるメリットを上げ、取組への理解を求め閉会しました。



説明会
配布資料



パトロール中の清掃活動



マナー啓発カードの配布活動

三者協定現地検討会で 協力体制を確認

【木曽森林ふれあい推進センター】

七月二十二日～二十三日、木曽森林管理署並びに長野県木曽郡王滝村において、二十名が参加し三者協定現地検討会を実施しました。

〈本局のトピックス〉

本協定は、森林総合研究所、信州大学農学部及び中部森林管理局の三者が、それぞれ実施する研究、事業、イベント等において連携、協力し、地域の森林・林業及び木材利用の課題解決並びにその成果を活用する取組によって地域の振興を図ることを目的としたものです。

今回の検討会は、木曽森林管理署管内の木曽ヒノキ天然更新試験地などの取組を確認し、情報共有することを目的に開催しました。



ヒノキ天然更新試験地の
現地検討の様子

一日目は、木曽森林管理署において、現地検討箇所についての概要説明を各担当者からプレゼンした後、意見交換を行い、二日目は王滝村にある三浦国有林の現地において、検討を行いました。



岡野教授（信大）から更新状況の
説明の様子

信州大学からは三浦実験林において、昨年度設定したベルトトラクセクトや更新状況について、森林総合研究所からは閉鎖した林冠下で実施したササ処理と実生発生の成果について説明がありました。

また、木曽署及びふれあいセンターからは、これらの成果を参考に三浦国有林における試験について説明を行いました。三者が現地で成果を確認したことにより、研究成果の理解を深めることができました。

保護林管理委員会を開催

【計画課】

八月六日、本年度の保護林モニタリング調査を実施する北信森林管理署管内の保護林について、保護林管理委員会委員による現地調査を行いました。

現地調査では、長野県飯山市にある小菅神社の奥社神殿より奥の「小菅山ヒメコマツ希少個体群保護林」まで、小菅古道を1時間以上かけて汗だくになりながら登り、確認、検討を行いました。委員からは「保護林を管理する上で資料のみに頼らず、実際に目で見て触れることが重要である」といった意見がありました。



ヒメコマツの現地調査の様子

八月七日には、中部森林管理局において、管内における保護林の設定、変更、廃止、管理及びモニタリング等に関する事項並びに保護林に関連する生物多様性の保全についての検討を行う「令和元年度第一回保護林管理委員会」を開催し、本年度実施する保護林モニタリング調査及び緑の回廊モニタリング調査概要や令和八年度までの保護林モニタリング実施計画について報告を行いました。

報告を受け、委員からは「保護林管理方針書に基づき、より充実させる調査、取組に努めること」などの意見をいただき、すべての議事が承認され閉会となりました。



カヤノ平等生物群集保護林の遠望
(当年度モニタリング調査箇所)

〈本局のトピックス〉

次世代森林産業展

2019 に出展

【企画調整課】

八月一日から三日、長野市のビッグハットで開催された次世代森林産業展2019に「林野庁／中部森林管理局」としてブースを出展しました。

本イベントは、生産性、安全性及び収益性を高める国内外の先進的な機械や施設、次世代テクノロジーが集結する商談展示会であり、川上ゾーンから川下ゾーンにかけて、各種分野の企業等が参加するとともに、海外からはオーストリア、フィンランドの企業も出展しており、将来の森林・林業において活躍が期待される様々なアイテムが紹介されました。

屋外では、高性能林業機械のデモンストレーション、チェンソーの実演、各会議室では各種セミナーも開催され、どの会場もたくさんの方の入場者で賑わっていました。

中部局ブースでは、今年度の局の重要な取組や新たな取組とともに



中部森林管理局ブースの様子

に、昨年実施したブランド材を用いたパーティションの実物を展示し、A材のブランド化や需要拡大に向けた取組を紹介しました。初日には、末松広行農林水産事務次官、本郷浩二林野庁長官もブースを訪問し、視察されました。林業関係者の参加がメインのイベントではありましたが、三日間で六千二十六名の来場があり（主催者発表）、梅雨明け間もない八月初旬の暑い時期の開催ではあったものの、会場は多くの来場者で熱気に溢れていました。

多様な森林づくりに向けて

森林施業技術研修

【森林整備課・計画課】

七月九日から十一日、「森林の多面的機能の発揮を重視するとともに、流域の特性や生物多様性保全に配慮し、目標型に応じた森林の管理経営を行うため、多様で低コストな森林施業に関する知識及び技術を習得させる」ことを目的に局署の職員十名に対し森林施業技術研修を実施しました。

一日目は、森林・林業基本法や森林・林業基本計画等にふれながら、望ましい森林の姿や針広混交林造成に向けた森林施業について森林整備部長が講話を行った後、計画課から多様な森林づくりと森林計画、技術普及課からニホンジカ被害対策の現状等の講義を行いました。

二日目には、東信署管内の国有林へ研修フィールドを移し、多様な森林づくりを推進するために設定したモデル林等において、植栽本数の低減の検証と合わせ、高木性有用広葉樹や天然生稚幼樹の育



モデル林で現地研修の様子

成も併用した針広混交林化の取組と、ニホンジカ被害対策の状況について、佐久平首席森林官の案内により確認しました。

最終日には、森林整備課から低コスト造林の推進、多様な森林への誘導手法、外部講師である信州大学大窪教授から、生物多様性保全の基礎について講義が行われました。

多様な森林づくりを進めるうえで、今後もこうした研修を実施していくこととしています。

松川入地区民有林直轄治山事業 地元説明会を開催

【伊那谷総合治山事業所】

七月二日、松川入地区民有林直轄治山事業地内において、今年度事業の現地説明会を開催しました。説明会には土地所有者である飯田市松川入財産区の代表議員九名と飯田市林政課職員一名が出席して、当所の職員が事業概要等の説明を行い、財産区議員からの質問や要望について意見交換を行いました。

当日は梅雨空の中で、冒頭の所長挨拶の後に、崩壊地直上や対岸からの遠望などを行いながら、飯田治山事業所の治山技術官が、当年度の山腹工事の概要や前年度施工箇所への復旧状況について説明を行いました。

説明後には、議員の皆様から「こんな急傾斜地でどんな工法で工事を実行するのか」、「十年以上前に完成した箇所が林地に回復しているのが安心した」、「架線業者が少ない中で将来的に工事は継続していけるのか」といった質問が

出されるなど、工事への関心の高さが伺える意見も多く出されました。

また、説明会の最後には、工事支障木の集積状況を見学していただき、飯田市林政課と連携し、約一万戸の財産区市民を対象として、希望者へ用材とならない支障木を家庭用の薪材として無償提供する計画を進めている旨の説明をしたところ、財産区議長からは「風呂や暖房用の薪材を必要としている関係市民も多く、有難い話だ」といった意見をいただきました。

当所では、住民の安心・安全を確保するための治山事業を引き続き推進するとともに、秋頃には関係市民に薪材を提供できるように準備を進めていく予定です。



工事支障木（薪材予定）の見学状況

木曾の国有林見学会

（令和元年夏季）を開催

【木曾森林ふれあい推進センター・名古屋事務所・木曾森林管理署】

七月二十一日、木曾森林管理署管内の赤沢自然休養林で、木曾川下流域の住民を対象とした「木曾の国有林見学会令和元年夏季」を開催しました。

この催しは、木曾川下流域住民の方々に、木曾地域の林業の歩み、木材輸送、名古屋市の白鳥貯木場にたどり着くまでの運材技術の変遷を実際に見聞きし「400年の歴史」を体感していただくことを目的として開催し、名古屋市内を中心に十七名が参加しました。

現地では、職員の案内で、歴史とともに育まれてきた樹齢三百年余りの木曾ヒノキやサワラが生い茂る林内を

散策し、木曾の林業の歴史や運材方法、伊勢神宮との関わり、木曾五木の見分け方や特徴などを学ぶとともに、子ども供達に森林の働きなどを説明しつつ、約二時間の森林散策を満喫しました。

参加者からは「名古屋市では見られない自然が見られて大変よかった」「森林鉄道に乗れて楽しかった」「お弁当がおいしかった」などの感想が聞かれました。

なお、この催しは、御嶽山噴火災害への木曾復興支援の取組としても位置づけており、今後も実施にあたり参加者の意見・目線をとらえ、より意義のある催しとなるよう努めて参ります。



木曾五木の説明の様子



森林鉄道に手を振る参加者

〔高〕国木曾ひのき（東濃）
初出荷記念市開催

【資源活用課・東濃森林管理署】

七月二十四日、岐阜県中津川市の木曾官材市売協同組合坂下事務所において、「中元謝恩市〔高〕国木曾ひのき（東濃）初出荷記念市」が青山中津川市長、中部森林管理局長出席のもと開催されました。



初出荷記念市の様子

中部森林管理局では、A材のブランド化の推進を重要な取組として位置づけ、平成二十五年度に木曾森林管理署及び南木曾支署管内から産出される八十年生以上の「高齢級人工林ヒノキ」をブランド化したのに続き、今年度から東

濃森林管理署も加え、木曾署、南木曾支署、東濃署の三署で、一体的に「〔高〕国木曾ひのき」として販売することになりました。

初出荷の〔高〕国木曾ひのき（東濃）は、七十五立方メートルで、主な出来値は四メートル×四十二センチメートルが十万円／立方メートル、同四十二センチメートルが八万六千円／立方メートルと好調なスタートを切りました。この他にも、天然サワラ、天然木曾ヒノキなど高値で落札され、盛況な記念市となりました。

今後とも、〔高〕国木曾ひのき（東濃）のブランド力を高め、需要拡大、認知度アップを図ってまいります。



高齢級人工林ヒノキ

森林と湖の恵みを満喫
高瀬溪谷フェスティバル開催

【中信森林管理署】

七月十三日、国土交通省と林野庁が制定した「森と湖に親しむ旬間」のイベントとして、大町ダム管理所周辺を会場に「高瀬溪谷フェスティバル2019」が開催されました。

今年で三十二回目を迎える当イベントでは、国、県、市等関係自治体や地元企業により、ダム内の見学や降雨体験、発電所見学など様々な催しが行われました。

中信署も丸太切り体験、木の実や枝等を使った木工品作り、押し葉を使ったオリジナルはがき作りコーナーを設置したところ、イベ



中信署ブースの様子



丸太切り体験

ント開始直後から多くの親子連れが訪れ、終始賑わいました。

木工品作りでは子どもから大人まで夢中になって取り組み、スタッフの想像を遙かに超える工夫を凝らした作品が作られました。

また、丸太切りでは、使い慣れないのこぎりに悪戦苦闘しながら、子ども達も最後まで自分の力で切り終えることができ、親子で喜び合う様子が見られました。体験者からは「こんな細かい木（径約八センチ）なら簡単に切れると思ったのに、とても大変だった」などの感想が聞かれました。

今回は森の恵みを使って親子で楽しめる体験を実施することができました。今後も地域の方達が森林とふれあい、その大切さを感じていただけるように取り組んでいきます。

森林施業を現地実習

【森林技術・支援センター・岐阜森林管理署】

七月五日、森林技術・支援センター・岐阜森林管理署が、小川長洞国有林と乗鞍国有林において、岐阜県立森林文化アカデミーの学生が国有林の施業等について学ぶための、現地実習の受け入れを行いました。

〈各地からのたより〉

小川長洞

森林文化アカデミーでは、伐期を迎える林分において、生育状況や搬出条件等から森林施業の能力を養う現地実習を重視しています。

国有林では、間伐率の異なる「ヒノキ間伐展示林」で、樹高に對して枝が付いている部分（「樹幹長率」と



ヒノキ間伐展示林で施業の説明の様子



長伐期施業の説明の様子

（以下）が少なく、樹木の優劣が明確になった林分を観察し、学生から「樹幹長率が低く肥大成長は望めないことから、伐期に皆伐する」、「皆伐後の造林経費確保が難しいことから、間伐を繰り返す」という意見が出されました。

また、乗鞍国有林では、長伐期施業を行っている林分で、樹幹長率や樹冠のうっ閉状況を確認し、学生から「搬出条件がいいことから皆伐は行わず、需要に応じて抜き伐りする」という意見がありました。

これからも林業専門学校等からの要請に応じ、国有林の案内やPRに努めて参ります。

御代田南小学校五年生を対象に 森林教室を実施

【東信森林管理署】

七月十日、長野県北佐久郡御代田町の御代田南小学校五年生の児童九十四名を、また十二日には小諸市野岸小学校五年生の児童四十五名を対象に、小諸市にある天狗温泉浅間山荘の広場と浅間山国有林をフィールドに森林教室を実施しました。



何でもビンゴの様子

森林教室は、ネイチャーゲーム「何でもビンゴ」の班と、森林散策（十二日はマイ箸作りとコースター作り）の班を交互に入れ替える形で行いました。

何でもビンゴでは「とげのある

木」、「においのする植物」、「木のイス」など二十五の課題を広場周辺から探し当て、ビンゴになると歓声を上げて喜んでいました。

また、コースター作りでは普段使わないノコギリに四苦八苦しながら、家族の分のコースターも作ったり、マイ箸作りではヒノキの良いにおいをかぎながら、一生懸命製作を楽しんでいました。さらに、時間の合間を見て、森林の働きなどを紹介しました。

児童からは、「森林のもつ役割が少し分かった」、「木の名前を少しだけだけ覚えることができた」、「のこぎりを使うのが大変だった」、「家族でまた山に来たい」など、元気な声が聞かれました。



マイ箸作り体験の様子

乗鞍岳外来種植物

除去作業の実施

【飛騨森林管理署】

七月九日、乗鞍美化の会主催による乗鞍岳畳平周辺及び桔梗ヶ原において、乗鞍岳の貴重な植生の保護を目的として、会員、一般のボランティア等四十一名が参加し外来植物「セイヨウタンポポ」の除去作業を実施しました。



外来植物のセイヨウタンポポ

毎年四回、関係機関や地元ボランティアの方々による地道な除去活動を進めています。

除去活動は、腰をかがめての作業で、根が非常に深く抜き取りは容易ではありません。そんな中、観光で散策される方々から「大変です、お疲れ様です」と激励の声をかけていただき、疲れも忘れ約二時間の作業で、三十三ヶ所のセイヨウタンポポを除去することができました。

作業後、ボランティアの皆さんには、乗鞍の自然環境を守るといふ充実感が漂い、同行した職員も多くの人との協働を通じ、今後も継続していくことが大切であると改めて感じました。

畳平まで車道が整備されており、誰でも気軽に高山へ登ることができることから、車のタイヤや人の靴などによって外来種が侵入しやすい場所となっています。繁殖力が強く、生態系を乱し、在来種に悪影響を及ぼす「セイヨウタンポポ」は、道路に沿って繁茂しており、貴重な高山植物への影響が懸念されています。畳平周辺では、



外来植物駆除作業の様子

東侯国有林で

クリーン活動を実施

【南信森林管理署】

七月二十五日、下諏訪町の東侯国有林内の国道二四二号線、和田峠旧道沿線において、国有林クリーン活動を実施しました。



クリーン活動の様子

活動は当署職員に加え、長野国有林森林整備協会南信支部及び長野林業土木協会天竜支部のご協力をいただき、総勢六十四名で、約一時間行いました。

拾い集めたゴミは、ペットボトルや空き缶、空きビン、紙類等、いわゆる「ポイ捨て」のものが主ですが、中には、機械の部品らしき金属も見られました。

参加者は綺麗になった林内を見て、達成感を得るとともに、収集

されたゴミは、軽トラック三台分約五百八十ヶ所と昨年よりも多く、今年も下諏訪町の全面的なご協力により、不燃ゴミは下諏訪町清掃センターで、可燃ゴミは諏訪湖周クリーンセンターで受入れていただきました。

当地は人目に付きにくい山中ということもあり、なかなか投棄が減らない現状ですが、クリーン活動を継続することにより、「ゴミを捨てにくい環境」を整えていくことが重要と考え、今後も地域のご協力をいただきながら実施していきたいと考えています。



クリーンセンターでゴミを分別する職員

「岩村城跡」の清掃作業

（雨にも負けず黙々と）

【東濃森林管理署】

七月二十七日、「女城主の里・岩村城跡」において、一斉清掃作業が行われました。

この作業は、恵那市岩村町のシンボルでもあり、日本三大山城の一つで、日本百名城にも選ばれた「岩村城跡」について、歴史的な財産を次代に継承するとともに、末永く地域の人々に愛され、地域の誇りとするために、各種団体や地域が一体となって実施しているものです。



清掃作業の様子

城跡に近接する岩村国有林には、かつて、地域の貴重な自然環境や優れた森林を守り、併せて地

域の振興に資することを目的とした「郷土の森」が設定されていたこともあることから、当署としても毎年この活動に協力しており、今年も四名の職員が参加しました。

当日は、台風六号が接近し、雨に打たれながらの作業となりましたが、総勢一〇七名の参加者一人一人が、それぞれの思いを込めて、草刈りやゴミ拾いなどに汗を流しました。

「来城」の準備は整いました。

この夏、ぜひ多くの方に「岩村城跡」を訪れていただければと思います。戦国の世に、想いを馳せてみてはいかがでしょうか。



城壁の草刈り作業の様子

「山の日」記念

森林・林業社会貢献活動

【岐阜森林管理署】

八月二日、金華山国有林において、名古屋造林素材生産事業協会による「山の日」記念森林・林業社会貢献活動が行われました。

金華山は、岐阜市街地中心部に位置することから、その境界は民家と接する箇所が多く、毎年この時期は雑草、灌木が生い茂り、様々な問題が発生し保全管理上の課題になっていました。

こうした課題、地域住民の要望に対応するため、同協議会のボランティア活動により、昨年



民家と隣接した箇所草刈り作業

界沿いの民家に接する箇所を重点に、雑草の草刈、灌木類の伐除作業を実施していただいています。今回のボランティア活動に対して、地元町内会からの感謝やねぎらいの声と、近隣住民の方からは飲料水の差し入れをいただきました。

高齢化や都市部の空洞化現象で、若い世代が域外へ出てしまいう中、地域住民による生活環境の保全作業は困難になってきており、今回の社会貢献活動が、地域に広がることを願っています。



ボランティアの皆様



立山連峰とみくりが池

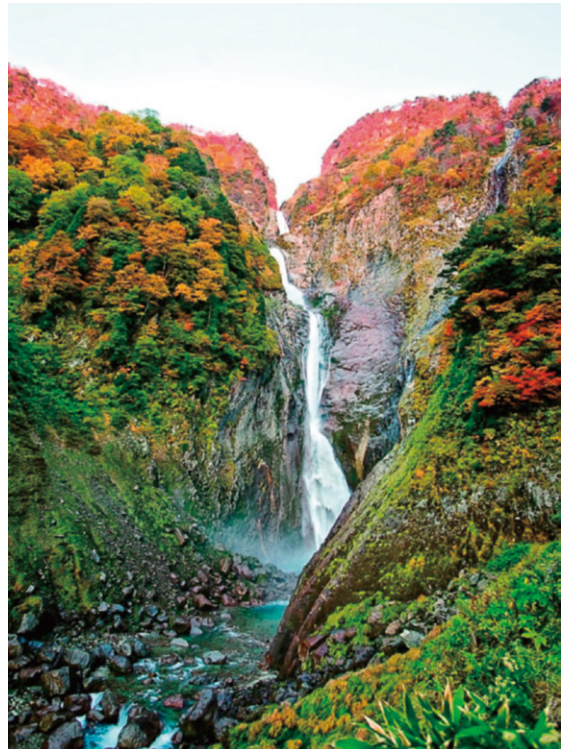
富山県の東部、立山連峰の麓に位置し、日本の滝百選に選定されている「称名滝」を紹介します。



称名滝のある立山町は、年間約百万人の観光客が訪れる国際山岳観光地である「立山黒部アルペンルート」を擁しており、近年では、国内初の氷河の発見、弥陀ヶ原・大日平（だいにちだいら）のラムサール条約湿地の登録、立山信仰の伝統儀式「布橋灌頂会（ぬのばしかんじょうえ）」の日本ユネスコ協会連盟によるプロジェクト未来遺産登録などを契機として、さらなる盛り上げをみせています。

立山町の名所の一つでもある称名滝は、多くの人を魅了する立山連峰を源流とし、称名峡谷から四段に折れながら三五〇メートル落差しながら、落差日本一を誇る大瀑布で、国の名勝、天然記念物に指定されています。

称名滝は、その爆音が「南無阿



日本の滝100選「称名滝」

弥陀仏」と称名念仏のように聞きたことから名づけられたと言われており、十年間に一匹のスピードで浸食され、現在の位置まで後退しています。

また、雪解け水が多く流れ込む春や大雨が降った後などには、称名滝の右側に幻の滝と呼ばれる「ハンノキ滝」が現れ、二つの滝のコラボレーションは、まさに大自然が作り出す芸術です。

今シーズンから、称名滝の迫力をより多くの人に楽しんでもらうため、遊歩道を走る電動カー（シニアカー）のレンタルもできるようにになりました。



称名滝とハンノキ滝のコラボ



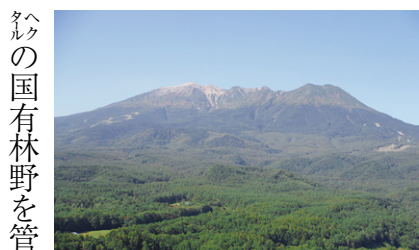
◆所在地
富山県中新川郡立山町芦峯寺

◆アクセス
【公共交通】富山地方鉄道立山駅から称名滝探勝バス称名滝行き約十五分、徒歩約三十分
※称名滝探勝バス通行期間
四月下旬～十一月中旬

◆【自動車】北陸自動車道立山ICから約五十分後徒歩約三十分

◆お問い合わせ 立山町観光協会
Tel 〇七六―四六二―一〇〇一

御嶽山の麓には、開田高原マイアスキー場があり、シーズン中は多くのスキーヤーで賑わいます。また事務所近くには「木曾馬の里」があり、数少なくなった木曾



雄大な御嶽山

さ」として有名な旧開田村の御嶽山北部から、松本市、木曾郡木祖村境までの約五、三〇〇



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染がないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

【木曾森林管理署 開田森林事務所】

森林官 古澤 博

私の勤務する開田森林事務所は、長野県木曾郡木曾町開田高原に所在し、「木曾馬とそばのふるさと」として有名な旧開田村の御嶽山北部から、松本市、木曾郡木祖村境までの約五、三〇〇

御嶽山の麓には、開田高原マイアスキー場があり、シーズン中は多くのスキーヤーで賑わいます。また事務所近くには「木曾馬の里」があり、数少なくなった木曾



木曾馬

馬と人が触れあい、多忙な日常生活で忘れかけていた「ふるさと」の景色、風、文化を肌で感じられ、雄大な御嶽山の眺望を楽しみながらゆったりとした時を過ごすことができます。

管内はカラマツの人工林が約八割を占めています。標高が高く、寒風害の恐れがあることや、火山灰を多く含んだ土壌がヒノキの生育に向かず、カラマツ指向になったのではないかと考えられます。急傾斜地が多い開田地区において、カラマツ人工林をどのように施業していくかが今後の課題だと思えます。

現在開田森林事務所は、森林官、行政専門員二名の三名体制で、生産事業・造林事業の監督、

各種調査、境界巡検・巡視等の業務に従事しています。また近年この地区においても、熊の剥皮被害が多く見られるようになったため、リンロンテープによるヒノキ造林木の保護作業に力を入れています。

七月に入ってから開田地区内においても豚コレラに感染した野生イノシシが確認されたため、センサーカメラを活用し生息状況を把握するとともに地元猟友会とも情報交換をしています。

平成から令和へと変わったこの四月に、憧れであった森林官として初めて開田森林事務所に着任してから四ヶ月が過ぎようとしています。前任地の駒ヶ岳森林事務所で地域技術官として六年間勤務した経験はあったものの、環境の違いから希望より不安の方が大きい日々が続きました。しかし、署長や職員の皆さんの協力により、「自分は森林官」という自覚を持つようになり、多少ですが自信も出てきました。特に地元関係や、過去の経緯については、地元の開田出身である行政専門員の二人が

よく知っていることからとても助かっています。今後も地域との連携を図り、雄大な御嶽山のようにどっしりと腰を据え、木曾馬のように辛抱強く職務を遂行し信頼される森林官を目指したいと思えます。



開田森林事務所前にて、左が森林官

■未来の担い手へのメッセージ
森林づくりは長い歳月がかかりますが、自分が携わった事が後世に引き継がれ、とてもやり甲斐のある仕事であると思います。若い職員も多くなります。現場勤務は大変な業務もありますが、楽しく仕事ができる職場だと思います。是非、林野庁へ！

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



付知土建 株式会社

熊田 貴則 くまだ たかのり

(二〇一四年入社)



三尾社長とのツーショット

■事業の概要

請負事業…中津恵那国国有林ほか

保安林整備工事（本数

調整伐ほか）東濃6

発注者…東濃森林管理署

この工事は、恵那山の麓に点在する保安林の機能を健全に保つため、混み過ぎた樹木を間引く本数調整伐等約四九畝と、林道を修繕する敷砂利工二、七〇〇坪を施工するものです。本数調整伐等は、協力会社の応援も得ながら保残木が健全に生育するよう取り組んでいます。



協力会社と段取りを確認

■現場での役割、魅力

今後、現場代理人を務められるよう、この工事では現場代理人を補佐しています。また、弊社が昨年度に新規雇用した二名（現在『緑の雇用』制度の研修生）の指導員として、一緒に仕事をしながら

ら選木や伐採、作業の進め方などを指導しています。

昨年度までは、民有林の補助金事業を中心に仕事をしていましたが、今年度は、いくつかの国有林野事業に携わることとなりそうです。民有林とは違った広大なフィールドで技術を研鑽しつつ、ダイナミックな林業を体感できるのが国有林の魅力だと感じています。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

私は、旅行会社からの転職組（インターン）です。添乗員などの仕事を通じ、旅先で眼にする自然に惹かれて森林や林業への関心を強く持つようになった頃、たまたま付知町在住の方から今の会社を紹介されたのが林業に携わることになったきっかけです。会社は、建設業主体から「もっと地域の林業に眼を向けなければ」との気概で森林土木事業だけでなく、森林整備事業にも取り組んでいると聞き「この会社で働こう」と決めました。

■未来の担い手へのメッセージ

中津川市での「地元を元気にするプロジェクト」に弊社常務と参加する中で、林業や建設業は、もっと自分たちの職場を紹介する取組が必要と感じました。今年から弊社は、働き方改革の一環で完全週休二日制を導入しました。そのためには、儲かる林業・建設業への努力も必要ですし、若い人が入ってくれるための情報発信も大切です。甘い話ばかりではありませんが、仕事自体は楽しいです。昨年は林業就業を支援している「森のジョブステーションぎふ」を通じ、IT業界から一名が入社しました。「まず歩き出しましょう」待っています！



始業前のリスクアセスメント活動

発注者…飛騨森林管理署

事

■業務の概要
請負事業…青屋林業専用道新設工



大山土木 株式会社
細江 勇太 ほそえ ゆうた
(二〇一六年入社)

シリーズ
「林業土木業界からの便り」

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

本工事は、岐阜県高山市丹生川町乗鞍国有林一一九林班外において千四百十メートルの林業専用道を新設する工事です。

■現場での役割、魅力

本工事では、入社して三年目で、初めて自分でトランシットを使用し、測量を行い、切土の切始め、盛土の盛始めの位置を計算し、その位置通りにバックホウのオペレータに作業してもらいました。

施工上でわからないことや、初めての事ばかりで不安も多くありましたが、現場の先輩方に手ほどきを受け、助けてもらいながら無事林業専用道を完成することができました。完成した時は、ほっとすると同時に、例え様のない達成感や喜びが溢れだし、とても思い出に残る現場になりました。

この仕事の一番の魅力は、造った物がたくさんの方々に利用され、壊れない限り、一生地図に残るところだと思います。このことに誇りを持っています。



林業専用道新設工事の様子

■林業土木の仕事に

入ったきっかけは、建設業に入ったきっかけは、父の存在です。

中学一年生の夏休みに親の職場を実際に体験し、新聞を書くという課題が出されました。その時、父は歩道を作る工事をしていました。現場を見た私は、こんな急斜面にどうしたら歩道ができるのかとても興味が湧きました。

二か月後、父が工事していた歩道が完成し、現場を見た時、私はとても感動しました。何もない急斜面に綺麗な歩道が整備され、町

の子ども達、家族、住民の方々が笑顔で利用している姿を見て、私も将来地域の方々が安心して利用できる道路などの物造りをしたいと思ひ建設業界に入りました。

■未来の担い手へのメッセージ

私は、この三年間でいろいろな工事に携わらせていただき、すべての仕事に完成した時の達成感や思ひ出が残りました。また、造った道路は、地域のために利用されます。

建設業は高齢化と担い手不足が問題になっていますが、魅力を感じる人は、是非一緒に盛り上げていきましょう。



完成した林道（ドローン撮影）



【上旬】

①上旬～下旬

黒姫高原のコスモスが見ごろ

(北信署 信濃町)

黒姫山の裾野に広がる一面のコスモス園とダリア園が見頃を迎えます。また、パノラマリフトに乗って、一面に咲く花々を足元に、信州の山々と野尻湖を望む眺望を楽しめます。高原の爽やかな風と景色を上空からお楽しみください。

お問い合わせ…黒姫高原スノーパーク

②上旬～下旬

木島平やまびこの丘公園のダリアが見ごろ

(北信署 木島平村)

高社山麓に広がる木島平やまびこの丘公園では、約一畝の広大な園地に、およそ二六〇種二万本のダリアが咲き誇ります。

お問い合わせ…木島平観光株式会社

③上旬～中旬

鏡池 (北信署 長野市戸隠)

戸隠連峰と周囲の山々を彩る木々が

鏡池の湖面に映り、新緑と紅葉の絶景スポットとなっております。四季折々の風景を見せてくれます。

紅葉の時期は、多くの観光客、写真愛好家などが訪れ、紅葉の鏡池の風景を楽しみます。

お問い合わせ…戸隠観光協会



④上旬～

初秋の上高地は、紅葉が見ごろ

(中信署 松本市)

九月中旬頃の上高地は、一気に冷え込み始め、河童橋では初霜が降りるときもあるほどです。この頃、田代池の草紅葉(くさもみじ)が美しい色合い

を見せはじめ、九月下旬にはカラマツが黄金色に、湊沢のナナカマドが紅色付きはじめます。

⑤6日 乗鞍岳星空観察会2019

(飛騨署 高山市)

バスで行ける日本で一番高いところ乗鞍岳平標高約二、七〇二メートルで天体観測。専門ガイドによる特別解説付きで開催されます。

満天の星空は手の届きそうなくらいです。(開催日 九月六日、七日、二十日、二十一日)

⑥9日 第11回信州戸隠トレイルラン

レース (北信署 長野市戸隠ほか)

戸隠山と飯縄山に囲まれ、トレイル率九五%。森林保全に配慮された走りやすいおよそ六〇キロメートルのコースを、約八百名のランナーが駆け抜けます。

お問い合わせ…信州戸隠トレイルランレース事務局

⑦11日 よくわかる脳トレ森林ウォーキング体験会

(北信署 飯山市)

飯山市太田地区活性化センターにおいて、東北医科薬科大学 住友准教授による講演及び脳トレ森林ウォーキングの体験会、脳トレプログラムの開発に関するミニワークショップを行います。※参加無料

お問い合わせ…小境・鷹落山麓里山整備利用推進協議会事務局(NPO法人)

フォレスト工房もくり内
TEL〇七〇一四〇九三三四三三二

⑧13日～15日 白鳥庭園で観月茶会

(名古屋事務所 名古屋市中)

名古屋市の白鳥庭園で中秋の名月を楽しみながらお茶会を過ごしてみませんか。「星空観察会」や「清風茶会」などの催しもあります。平日の昼間は、隣接の熱田白鳥の歴史館(名古屋事務所内)へもお寄りください。

お問い合わせ…白鳥庭園管理事務所

⑨14日～15日 信越五岳トレイルラン

ニングレレース 2019パタゴニア

カップ (北信署 飯山市ほか)

長野・新潟県境にある信越五岳(斑尾・妙高・黒姫・戸隠・飯綱)を結ぶ全長一六〇キロメートルにも及ぶ山岳エリアと信越高原の各地域を繋いだ壮大なコース設定。一六〇キロメートルと一〇キロメートルを約千百名のランナーが駆け抜けます。

お問い合わせ…信越五岳トレイルランニングレレース事務局

【中旬】

⑩15日 ツール・ド・西美濃

2019 (岐阜署 揖斐川町ほか)

岐阜県西濃地域二市九町の名所旧跡や自然、風景を楽しみながら自転車で行くサイクリングイベント。約一三二キロメートルに各市町が参加者を支援するお

もてなしステーションが設置され、ご当地の飲み物等が用意されています。
 参加定員…七〇〇名
 参加費…八千円

⑪ 21日 第2回金華山イノシシ対策シンポジウム (岐阜署 岐阜市)

『街(まち)のイノシシと人との関わり方』を考える公開シンポジウム(参加無料)を、岐阜市民会館において開催します。

主催…金華山一帯のイノシシ被害対策協議会(岐阜市、岐阜大学、岐阜森林管理署)
 お問い合わせ…岐阜市役所 農林部農林園芸課 林務係



下旬

⑫ 26日 長野県林業大学校公開講座

「きのこ勉強会」(木曾署 木曾町)
 木曾町の三岳県有林で実際に生えているきのこを探し、分類や食用・毒の有無を学習します。

講師…前林業大学校教授 竹内嘉江先生

定員…二〇名程度(申し込み必要)
 場所…三岳県有林
 お問い合わせ…長野県林業大学校公開講座担当

⑬ 28日〜10月6日 榑池自然園紅葉まつり (中信署 小谷町)

標高一、九〇〇メートルの榑池自然園では、一足早い秋の訪れとなり、白馬の山々を背景に赤や黄金色の草紅葉、ダケカンバやナナカマドなどが見頃となります。特産品の販売やキノコ汁の振舞いなど、各種催しが行われます。

⑭ 31日まで 第42回ひのきの里上松フォトコンテスト (木曾署 上松町)

上松町の民俗芸能、自然の風景や森林鉄道など、様々な被写体でご応募ください。
 九月末の締め切り後、十月に審査会が行われます(応募要項は上松町観光協会HPを確認してください)。

⑮ 下旬 白馬の三段紅葉が見ごろ (中信署 白馬村)

白馬村周辺の山々では、九月下旬から十月上旬が紅葉の見ごろ。十月下旬になると山頂の雪の白、麓の紅葉の赤、針葉樹の緑の三色鮮やかな「三段紅葉」が楽しめます。是非、今年は白

馬の「三段紅葉」を楽しんでみませんか。



浅間山噴火に関する注意喚起について

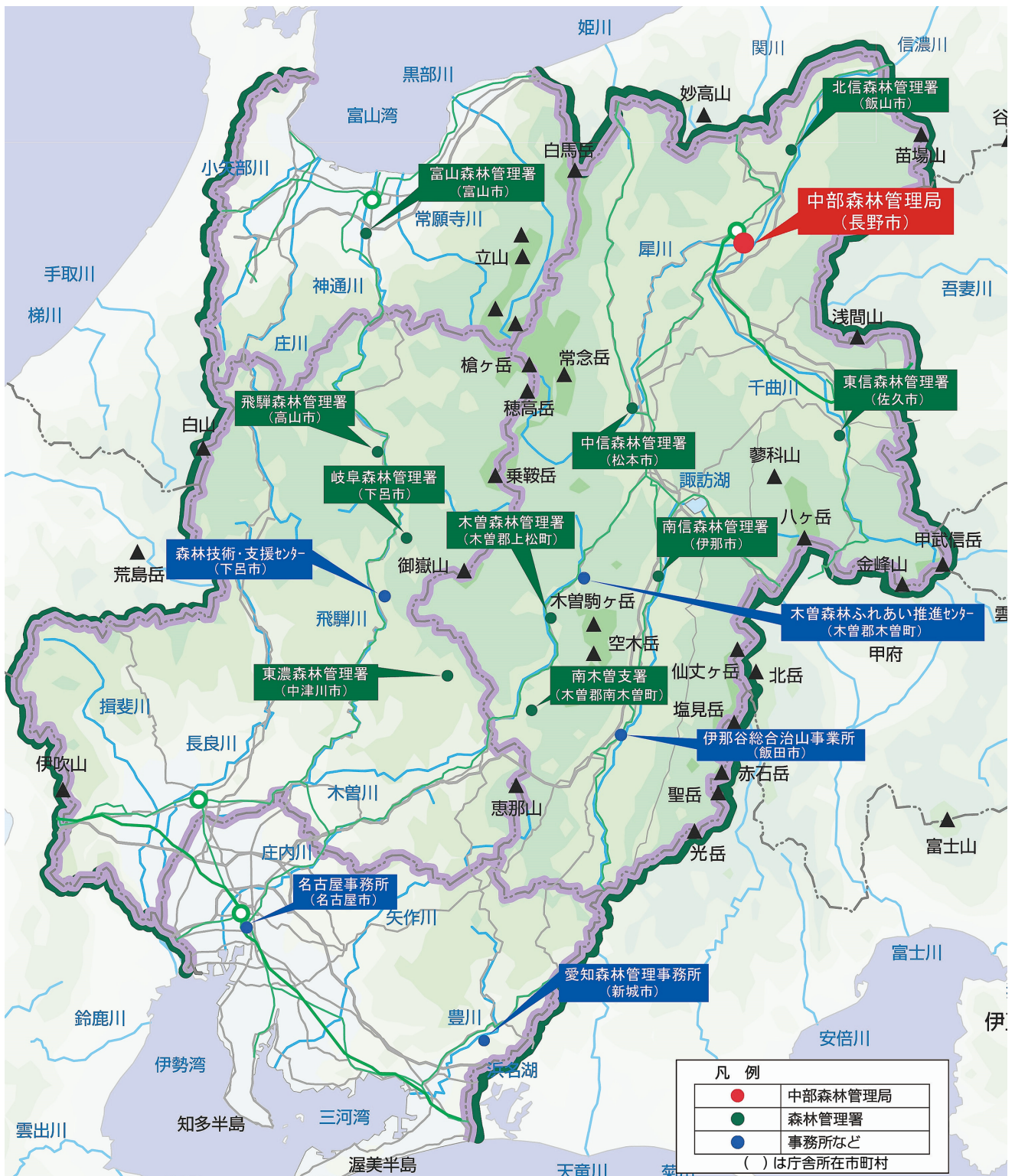
令和元年八月七日、浅間山で小規模な噴火が発生し、八月二十日現在、噴火警戒レベル2(山頂火口から二キロ以内は入山規制)になっております。
 付近への入山に際しましては、気象庁や長野県庁からの最新の情報の確認をお願いします。

編集長だよ！ あなたの気持ちの一枚！お待ちしております！

今年は、猛暑の日が続いています！
 暑い日は、清涼を求めて、さわやかな風と雄大な自然に癒されるひと時を探しに、森へお出かけしませんか。
 中部森林管理局では、気軽な散策に向けた国有林もピックアップしています。
 ぜひ、「国有林おさんぼマップ」を片手に、森へ出かけてはいかがでしょうか。
 (おさんぼマップは、QRコードを読み込んでください)



☆魅力イッパイ国有林などに関する写真投稿を随時募集しています。
 ステキな写真が撮れましたら migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)
 ※特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。ご投稿には、氏名またはニックネーム、整理番号(今月なら①〜⑯のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えていただいても構いません。
 ☆森林でのお仕事紹介コーナーを見て、森林・林業業界へのご興味を持っていただけたら幸いです。進路検討中の皆様、お気軽に最終ページのお問い合わせ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 (代表) TEL 026-236-2721 (夜間・休日) FAX 026-236-2657

| | | | | |
|----------------|-----------|---------------------|-------------------|------------------|
| 名古屋事務所 | 〒456-8620 | 愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20 | TEL 050-3160-6660 | FAX 052-683-9269 |
| 富山森林管理署 | 〒939-8214 | 富山県富山市黒崎字塚田割591-2 | TEL 050-3160-6080 | FAX 076-424-4934 |
| 北信森林管理署 | 〒389-2253 | 長野県飯山市大字飯山1090-1 | TEL 050-3160-6045 | FAX 0269-62-4144 |
| 中信森林管理署 | 〒390-0852 | 長野県松本市島立1256-1 | TEL 050-3160-6050 | FAX 0263-47-4754 |
| 東信森林管理署 | 〒384-0301 | 長野県佐久市白田1822 | TEL 050-3160-6055 | FAX 0267-82-6959 |
| 南信森林管理署 | 〒396-0023 | 長野県伊那市山寺1499-1 | TEL 050-3160-6060 | FAX 0265-72-7774 |
| 木曾森林管理署 | 〒399-5604 | 長野県木曾郡上松町正島町1-4-1 | TEL 050-3160-6065 | FAX 0264-52-2582 |
| 南木曾支署 | 〒399-5301 | 長野県木曾郡南木曾町読書3650-2 | TEL 050-3160-6070 | FAX 0264-57-2686 |
| 飛騨森林管理署 | 〒506-0031 | 岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3 | TEL 050-3160-6085 | FAX 0577-34-8932 |
| 岐阜森林管理署 | 〒509-3106 | 岐阜県下呂市小坂町大島1643-2 | TEL 050-3160-6090 | FAX 0576-62-2503 |
| 東濃森林管理署 | 〒508-0351 | 岐阜県中津川市付知町8577-4 | TEL 050-3160-5675 | FAX 0573-82-2109 |
| 愛知森林管理事務所 | 〒441-1331 | 愛知県新城市庭野字東萩野49-2 | TEL 0536-22-1101 | FAX 0536-23-2254 |
| 森林技術・支援センター | 〒509-2202 | 岐阜県下呂市森876-1 | TEL 050-3160-6095 | FAX 0576-25-2420 |
| 木曾森林ふれあい推進センター | 〒397-0001 | 長野県木曾郡木曾町福島1250-7 | TEL 0264-22-2122 | FAX 0264-21-3151 |
| 伊那谷総合治山事業所 | 〒395-0001 | 長野県飯田市座光寺5152-1 | TEL 050-3160-6075 | FAX 0265-22-0149 |